

令和5年度 第1回 ほたる多職種研修会

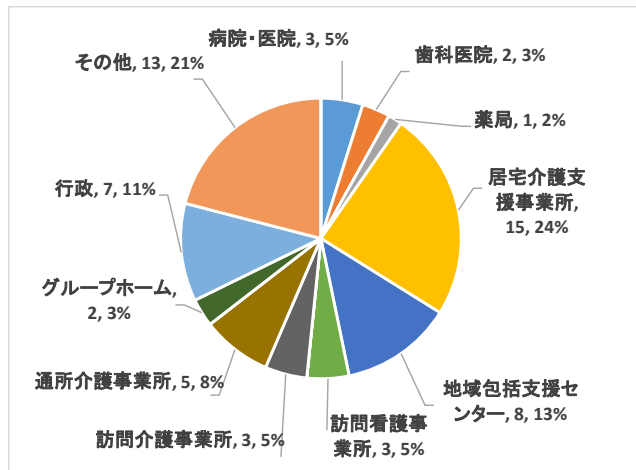
令和6年2月9日(金) 18:45～20:15

テーマ:ヒアリングフレイル～高齢者の耳を学ぼう～

参加者:107名 アンケート協力者:62名 回収率:57.94%

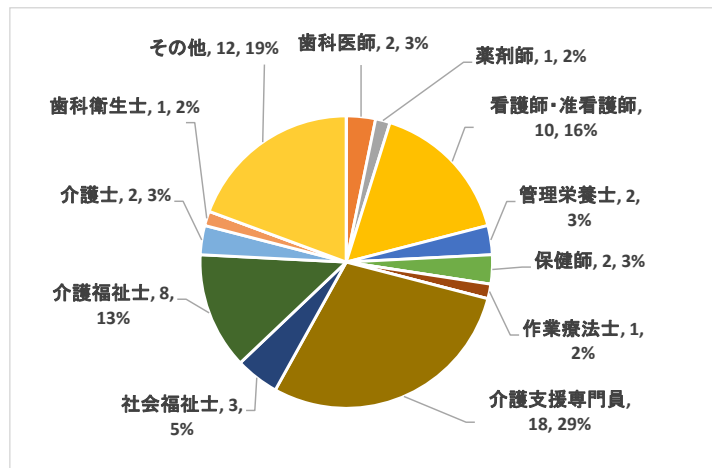
所属

病院・医院	3
歯科医院	2
薬局	1
居宅介護支援事業所	15
地域包括支援センター	8
訪問看護事業所	3
介護老人保健施設	0
介護老人福祉施設	0
訪問介護事業所	3
通所介護事業所	5
介護保健施設	0
グループホーム	2
行政	7
その他	13
無回答	0
合計	62



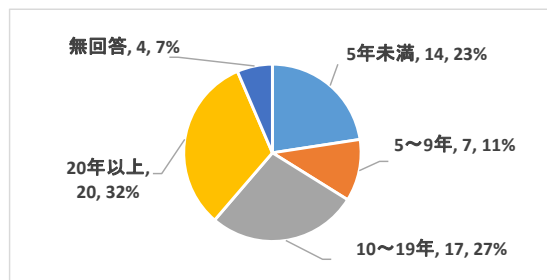
職種 (複数回答)

医師	0
歯科医師	2
薬剤師	1
看護師・准看護師	10
管理栄養士	2
保健師	2
理学療法士	0
作業療法士	1
言語聴覚士	0
介護支援専門員	18
社会福祉士	3
介護福祉士	8
介護士	2
歯科衛生士	1
MSW・相談員	0
その他	12
無回答	0
合計	62



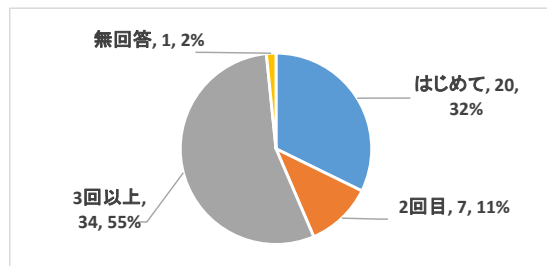
今の職種の経験年数

5年未満	14
5～9年	7
10～19年	17
20年以上	20
無回答	4
合計	62



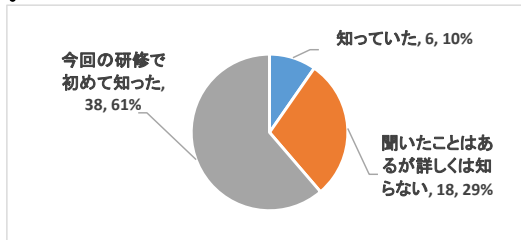
ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	20
2回目	7
3回以上	34
無回答	1
合計	62



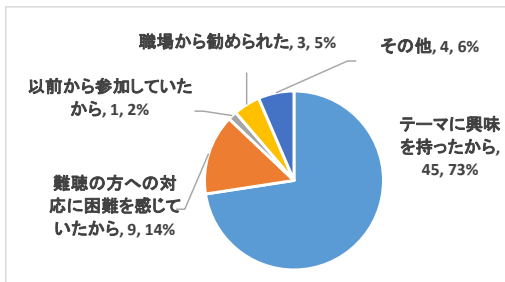
I. 「ヒアリングフレイル」について知っていましたか。

知っていた	6
聞いたことはあるが詳しくは知らない	18
今回の研修で初めて知った	38
無回答	0
合計	62



II. この研修会に参加しようと思ったきっかけは何ですか(複数回答可)

テーマに興味を持ったから	45
難聴の方への対応に困難を感じていたから	9
以前から参加していたから	1
職場から勧められた	3
その他	4
合計	62

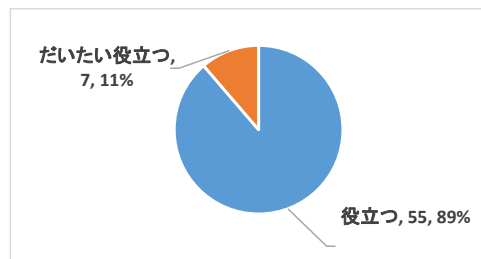


その他

- ・自分自身の聴こえに不安があったから。
- ・「ヒアリングフレイル」新しく聴くワードだったので勉強したいと思いました。
- ・自身が聞こえにくくなったため。
- ・当法人も取り組んでいく必要性を感じていたから。

III. 研修会で学んだことは難聴や聴力障害の方とのコミュニケーションや支援に役立ちますか

役立つ	55
だいたい役立つ	7
あまり役立つしない	0
役立つしない	0
無回答	0
合計	62



その理由

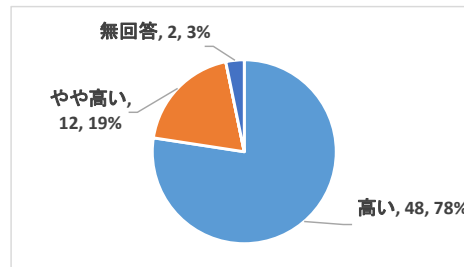
- ・ コミュニケーションを活用できればもっと良いと思うが、会社で購入してくれるのかわからないので・・・
- ・ 事業音響は音量よりもスピーカーの位置調整。表情を読み取りながら話す。
- ・ 聴こえの Assessment や話し方、聴脳力チェックアプリやコミュニケーションなどすぐにでも活かしたい情報をたくさん得ることができました。
- ・ 理解力の低下→難聴のためとの誤解？もあったのかと・・・もっとよく利用者の話を聞きたいと思う。
- ・ 難聴の方への対応を改めて考える機会になった。
- ・ 外出するのが億劫になる原因に耳の聞こえにくさの可能性も考えられるとお話は、大きな発見でした。身体的なことに目が行きやすい。ある一定の周波音が聴きにくいのかと思ってトーンを下げてゆっくり話をしていたが違った認識だった。新しい情報が聴けて大変役立ちます。
- ・ あらためてコミュニケーションの大切さを感じました。高齢者とお話する機会があるので、ヒアリングフレイルを意識してみようと思いました。大きな声でゆっくりしゃべればいいコミュニケーションが取れると勝手に思っていました。自分も認知症と誤認される方に引っ張られていたと思います。認定調査や長谷川式テストの場合では特に有効だと思いました。
- ・ 聞き取りにくい方とのコミュニケーションについて良い話が聞けた。
- ・ 認定調査での活用は非常に興味深いです。窓口にも設置したいです。
- ・ コミュニケーションが円滑になりそう。大きな声では聴こえない。
- ・ 相手の反応を見ながら、対応を探っていこうと確認できた。
- ・ ヒアリングフレイルの勉強にもなりました。最後まで頭がすっきりしていました。
- ・ 高齢者（難聴の方）とのコミュニケーション時に声の大きさ3段階の音量で試してみます。
- ・ 紹介やこちら側の対応変更。
- ・ 「認知症検査は難聴があると結果に影響する」との説明を聞いてそうなんだと感じた。
- ・ 実母が難聴なので様々なコミュニケーションに問題がでている。会話が成り立たないので今回の研修は勉強になった。
- ・ 研修会を受けることで対象者の方を理解することが出来た。もっと勉強したいと思います。
- ・ 会話をする時は、大きい声で話すのではなく、3段階程の音量を試してみる。また、10cmで聴こえ方に違いがあること。認知症と判断される事があるなど。今後自分なりに確認していきたい。
- ・ 難聴や聴力障害の考え方が変わり大変良かった。
- ・ 業務の中で感じていたことが、今回の研修を受けたことで理解できました。話す音量を相手の反応を見ながら調整していきたいと思った。
- ・ 職場でコミュニケーションがあるので活用していきたい。コミュニケーションの取り方も参考になった。

利用者様が高齢であることから補聴器を使用している方や持ってはいるが使用していない方、また難聴はあっても補聴器を持っていない方等様々な方がおられ今日の講義内容は利用者様とコミュニケーションを図る上でとても参考になりました。

- ・ 認知症検査時に対話支援機器を活用する事で検査の精度も上がりテスターと患者さん双方の負担が減る事を知った。
- ・ ただ大きい声を出すだけではなく音量を3段階用意し理解できているかどうかを確認しながら接することで患者さんとのコミュニケーションの取り方がかわってくるのがわかりました。
- ・ 音量の設定や、速度など留意する点を知ることができた。
- ・ comuoonが活用できれば・・・。

IV. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	48
やや高い	12
やや低い	0
低い	0
無回答	2
合計	62



その理由

- ・ 自分でもアプリを使って聴脳力チェックをしようと思った。
- ・ 聞こえにくいと認知症の関り・影響・配慮について考える機会となった。
- ・ 先生のお話も非常にわかりやすかったです。(スピーカーの影響もあるのでしょうか)
- ・ 具体的で分かりやすかったです。広く高齢者に関係する内容だったので。
- ・ 難聴を認知症と思い込んでしまうのは、改めて怖いことだと思いました。大変、勉強になりました。
- ・ 私自身が感音性難聴で補助器使用者のため、今日の講演は頷けることばかりでした。認知症の原因としての難聴という切り口で理解していたが補聴器が絶対でなく対応を見直す機会になった。Comuoonは試してみたい。興味をもった。どちらか鶴岡市内で取り扱っている所はあるのか。
- ・ 内容がとても理解しやすく実践に落とし込めます。
- ・ 母が難聴でしたが、すべての行動が講演内容にあてはまり腑に落ちました。介護認定がよりスムーズにできるのではと期待できます。質問に記述した通りの気づきがあって有意義に感じました。また以前の現場で聞こえにくい認識されにくいという場面が何度もあったので。
- ・ ヒアリングフレイルについての知識はなかったがわかりやすい説明をしていただき理解することができたため。
- ・ 早期発見・早期対応の必要性を認識することが出来ました。
- ・ 新しい情報、日常の仕事、生活でも役立つから。
- ・ 感音性難聴の方の状況が理解できた。
- ・ 知りたいと思う内容の答えが知れるお話でした。
- ・ 鶴岡市内の保健医療福祉関係者に「難聴」に対する理解と支援方法が伝わったと思う。
- ・ 難聴への対応について。
- ・ 母が難聴なので興味がありました。対応する利用者の方にも今日学んだことを実践していきたいと思います。
- ・ 興味があった内容だったので満足度は高かった。
- ・ 分かりやすかったです。
- ・ 対話支援機が利用できれば利用者さんへの説明や理解もしやすくなり活動的になると思いました。
- ・ さらに詳しい内容を学習しようと思った。
- ・ ヒアリングフレイル予防について、山形市が全国でも3番目に先駆的に取り組んでいることを知ることができた。
- ・ 高齢者の聞こえに関する知識が得られ、今後の業務や対人援助において役立てそうであった為。
- ・ Zoomの研修でこんな聞き取り易く、内容も分かり易い研修は初めてで、とても感動しました。ありがとうございました。
- ・ 新しい情報、知識について学べたから。
- ・ 高齢患者さんが多いため、難聴の方とのコミュニケーション方法について悩むことが多かったのですが今回の研修を通して難聴について理解することができ、今後の関わり方について学ぶことができました。
- ・ 実技もみてみたいと思った。
- ・ 自立支援、介護予防になると思うのでぜひ鶴岡市でも聴脳力アプリを用いてヒアリングフレイルに取り組んでほしいと思いました。

V. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマや、ご意見・要望など

- ・ 欠席の連絡をしましたが、間に合ったので参加させていただきました。今後ともよろしく願います。
- ・ ①Zoomで参加させて頂きましたがスライドしか見られなくて先生のお顔が映ってなくて残念でした。②三原Drのあいさつも良かったです。
- ・ 今は特に浮かびませんが。
- ・ ヒアフレ第2回目もお願いしたいです。もっと多くの方に聞いてほしい。
- ・ 複合的な課題のある家庭への支援、子どもへの支援。